

# 花だより

## 12号

### 社会福祉法人 花

生活介護 さい工房花はな  
共同生活援助 ホーム花(桜の家・風の家)  
短期入所 ショートさくら

〒259-1201 神奈川県平塚市南金目346-1  
TEL 0463(50)3080 FAX0463(58)8798

令和3年3月発行 発行人 村上 結

そして、地域社会資源の充実

日々の過ごし先の先

理事長 村上 結

たのしみは 朝おきいでて昨日まで

意かりし花の咲ける見る時

たのしみは なか睡まじくうちつどひ

かしらならべて物を食う時 橘曙寛

#### 【日々の過ごし】

社会福祉法人花、その利用者・職員の間、ましく和やかな時々、さながら正岡子規の絶賛した橘曙寛の歌にあるような情景です。日々の過ごしがかげがえのないものであるからこそ、「地域社会資源の充実」への取り組みは、とても大切なものと考えています。

#### 【三つの取り組み】

日々の過ごしを支える利用者や職員、その一人ひとりが末永く安心して過ごし、働く事ができる。「花」を応援してくださるご家族、役員をはじめ後援会やボランティアの方々、そして新たに「花」を希望される方々：誰もが安心できる。そのため現在進めている三つの取り組みについて概略をお伝えします。

#### ①人材確保・定着・育成への組織整備

労働局の人材確保支援制度に基づき、職員が将来の見通しを持てるようにキャ

リアアッププランを作成しました。また笑顔と感謝あふれる明るく風通し良い職場づくりに努め、多くの人が働きたい・働き続けたいと思えるように、法人としての成長を促します。

#### ②既存でい・ホームの長寿命化

築十五年の既存建物について、給排水設備・浄化槽・屋根・外壁等の大規模修繕を今後計画的に進めます。現在の経営基盤である、でい・ホーム老朽化対策により、施設の長寿命化を図ります。

#### ③新グループホーム整備計画

終の棲家として、利用者・職員が高齢になっても、過ごしやすく支援のしやすい施設の整備計画を進めます。新たな施設を持つことにより、一層の感染症対策（徹底した三密回避やゾーニング）が可能です。また、災害時のリスク分散機能にも資するものと期待しています。

#### 【地域社会資源の充実】

新グループホームは、現在の「花」から二キロ程離れた平塚市真田に建設を予定し、災害時を含む安全面への配慮を最優先とする計画です。建物は準耐火構造二階建て、防火スプリンクラーやエレベーターを設置。避難経路の確保として、避難階段・避難用スロープ・フラットベランダを整備。水・食料・生活必需品等の十分な災害用備蓄の為に屋根裏収納も備えます。同時に食事・

入浴・トイレ等に快適さと支援しやすさを追求。生活面への配慮もしっかりと考えています。これまで新たなグループホームの整備計画を待ち望まれていた方々のお役に立つことが出来ればと考えています。完成後は手狭な既存でい・ホームの各種機能の移転を検討しています。でい活動のサブスペースとしての機能。会議・研修・面談場所等の機能。三密回避や感染症発生時のゾーニング機能：新たなグループホームが「花」のさらなる安心・安全・快適を実現する施設となるよう期待しています。同時に家族会や後援会の皆さま、そして地域にもお役に立てる施設となる事を目指します。

小さな社会福祉法人の大きな挑戦です。「チャレンジはリスクを伴う」という言葉を胸の一つひとつ丁寧に取り組んで参ります。「花」を見守り下さる皆さま、今後とも変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

中世ヨーロッパの街で、たくさんのレンガ職人が汗を流して働いている。そこを通りかかった人が「何をしているのですか」と問いかけた。一人目は不機嫌に「親方にいわれてレンガを積んでいる」と答え、二人目は明るく「家族のために金を稼いでいる」と答えた。そして三人目は生き生きとした笑顔で「青空に映える大聖堂をつくっている」と答えた。